

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

国 語 科目 言語文化

教科：国 語

科目：言語文化

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1、3、8：堀田）（2、6、7：兜坂）（4、5：荒井）

使用教科書：（「言語文化」143筑摩言文712）

教科 国 語 の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化への理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】 a	【思考力、判断力、表現力等】 b	【学びに向かう力、人間性等】 c
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深める。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深めながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもたうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A 単元 第1章 古文への扉 【知識及び技能】 古文の特徴や使い方に関して学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえ叙述を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 古典に親しみをもち、これからの学習に見直しをもって取り組もうとする。	・指導事項 歴史的仮名遣いについて理解する 文中の省略語を補って現代語訳する 説話の特色について理解する。 ・教材（「児のそら寝」「大江山」「絵仏師良秀」「芥川龍之介『地獄変』」） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	・古文の入門的な文章である説話を読んで、文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。a ・古典を読むのに必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。b ・古典作品の説話文学と現代の作品との関係を踏まえ、それぞれの作品の解釈を深めている。 ・教材の内容に関心をもち、これらの学習に見直しをもって取り組んでいる。c	○	○	○	10
B 単元 第8章 漢文への扉 第9章 漢語の特色1 【知識及び技能】 漢文句法を学び、熟語の分析を行うことで、言葉の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文句法を踏まえ、漢文の構成等について的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心をもち、これからの学習に見直しをもって取り組む。	・指導事項 日本語との構造の違いを理解する 漢文訓読の仕方を学ぶ。 返り点の種類とそれに従った読み方を理解する。 「書き下し文の原則」を理解する 助字の種類と用法を理解する。 返読文字、再読文字の種類と、読み方、意味を理解する。 ・教材「漢文入門」「借虎威」等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	・漢文句法を学び、文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。a ・漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについて的確に捉えている。b ・教材の内容に関心をもち、これらの学習に見直しをもって取り組んでいる。c	○	○	○	6
定期考査						○	○		1
1 学期 C 単元 第2章 人間の普遍的姿1 第3章 自分という他者 【知識及び技能】 物語や日記を読むことで言葉の特徴や使い方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 物語作品の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について叙述を基に的確に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品を手がかりに作者の思いや筆者の考え方を読み取る。	・指導事項 物語に表れた心情を読み取る。 構成を意識して作品への理解を深める。 筆者のものの見方を理解する。 ・教材 第2章伊勢物語 「芥川」p45・「梓弓」p53 第3章 土佐日記「門出」p58 (第2章竹取物語「かぐや姫誕生」) ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	・古典を読むために必要な文語の決まり（係り結びの法則等）、古典特有の表現などについて理解している。a ・古典の世界に親しむために、作品の歴史的、文化的背景を理解している。a ・『伊勢物語』『土佐日記』を読み、言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。a ・「歌物語」の成立の背景や、「日記文学」の歴史的・文化的背景などを理解している。a ・「歌物語」「日記文学」という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。b ・『伊勢物語』・『土佐日記』の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。b ・物語という文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などの叙述を基に的確に捉えている。b	○	○	○	10
D 単元 第9章 漢語の特色2 【知識及び技能】 故事成語を読み、言葉には文化の継承、発展を支える働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 描かれた言葉と行動から人間像を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見直しをもって取り組み、言語文化への興味関心を深める。	・指導事項 教材の内容と故事について理解する。 教材に描かれた当時の中国の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ・教材「漁父之利」等 参考「朝三暮四」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	・故事成語を読んで、文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。a ・故事成語を読んで、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことで語感を磨き、語彙を豊かにしている。a ・故事成語の構成や展開、表現の仕方、表現の特色を捉えている。b ・教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見直しをもって取り組んでいる。c ・教材の内容に関心をもち、それらを継承していくことに自覚を持とうとしている。c	○	○	○	6
定期考査						○	○		1

<p>【思考力、判断力、表現力等】 思想を伝える表現の工夫を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 老子と孔子の考えを比較して自ら参考に できることをまとめる。</p>	<p>・『論語』と孔子、『老子』と老子 について理解する。 ・教材「論語」「老子」 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	<p>それぞれの作品の関係を踏まえ、内容の解釈を深め ている。b ・時間の経過や国ごとの文化的特徴などによる 文字や言葉の変化に理解を深め、古典の言葉と 現代の言葉のつながりについて理解を深めてい る。b ・教材の内容に関心をもち、それらを継承して いくことに自覚を持とうとしている。c</p>	○	○	○	12
定期考査						○	○		1
									合計 105